

令和2年度 長崎市自然環境調査報告書：水生生物

長崎市自然環境調査委員 深川 元太郎

今年(2020年1月～12月)は、昆虫類の田中委員と共に、三重田町の檜山川とその周辺地域、並びに永田町の黒崎永田湿地自然公園、この近接する2ヵ所で、水生動物類や昆虫類のファウナを中心とした調査を行いました。この2ヵ所の調査結果については、別途取りまとめて、報告書として長崎市に提出する予定ですが、希少な種の保護の観点から、前述の報告書については非公開とすることとしています。

⑥長崎市三重田町（三重田低地）

この場所は、西彼杵半島南西側に位置する檜山川(杉谷川)の下流部一帯になります。以前には営農が行われていたようですが、かなり以前より放棄されて、現在は大部分が草地及び萌芽林となっていて、一部では水田の名残と思われる湿地状となっています。檜山川は、小規模な二級河川で河口付近でも流水幅は5m程しかなく、水深が10～30cm程の浅い場所がほとんどで、両岸はコンクリートブロックにより護岸されています(図1)。



檜山川(調査範囲の上流部)



檜山川(調査範囲の上流部)



檜山川(調査範囲の中流部)



檜山川(調査範囲の下流部)



檜山川河口(調査範囲の下流部)



湿地

図1. 調査地点の状況

調査は、表1の月日に、水辺においては主にタモ網を用いた調査に加え、目視調査や白布を用いた通称「ふんどし流し」の調査を行っています(図2)。陸上においては、昆虫網やたたき網を用いた調査や、夜間行う灯火採集なども合わせて行いました。灯火採集は、周辺に

住宅があるため、騒音が発生する発電機の使用をできるだけ控え、ポータブル電源を用いて行っています。

表 1. 調査月日と採集方法

No.	調査年月日	調査者	陸上昆虫類					共用	水生動物		
			陸上 ルッキング	たたき網	昆虫網	スプレイング	プロア-		水辺 ルッキング	水辺 罟網	水辺 フンドシ流し
1	2020.1.13	TK,FG	○	○	○				○	○	○
2	2020.2.8	FG	○	○					○	○	
3	2020.2.23	FG	○	○	○				○	○	
4	2020.3.8	FG	○	○					○	○	
5	2020.3.21	TK,FG	○	○	○	○					
6	2020.4.5	F G	○	○	○				○	○	
7	2020.4.25	F G	○	○	○						
8	2020.5.2	F G	○	○	○				○	○	
9	2020.5.8	F G	○	○	○		○				
10	2020.5.23	TK,FG	○	○	○			○			
11	2020.6.7	FG							○	○	
12	2020.6.6,20	TK,FG	○	○	○			○			
13	2020.7.2	FG	○	○	○		○		○	○	
14	2020.7.18	FG	○	○	○						
15	2020.7.20,24	TK,FG	○	○	○			○			
16	2020.8.9	TK,FG	○	○	○			○	○	○	○
17	2020.9.4	FG	○						○	○	
18	2020.9.22	FG	○	○	○						
19	2020.10.3	FG	○	○	○				○	○	
20	2020.11.8	FG	○	○	○				○	○	
21	2020.12.6	FG	○	○					○	○	

<調査者略記> TK: 田中 清、FG: 深川元太郎



タモ網を用いた採集



灯火採集



ふんどし流し採集

図 2. 調査状況

確認種は、一部種査定が途中のものがありますが、今年中で 1,173 種、未発表資料や既往知見も加えると 1,285 種となっています。主な確認種をあげてみると、魚類では、ニホンウナギ、タカハヤ、カワムツ、ミナミメダカ、エビ・カニ類では、ミナミテナガエビ、ヒラテナガエビ、トゲナシヌマエビ、ヒメヌマエビ、ミゾレヌマエビ、モクズガニ、ベンケイガニ、貝類では、イシマキガイ、カワニナ、サカマキガイ、ヒラマキガイモドキ、水生昆虫類では、コガタノゲンゴロウ、ベニトンボ、ゲンジボタルなどです。以下(図 3)に確認した種の画像をあげておきます。



ミミズハゼ



ミナメダカ



タカハヤ



スミウキゴリ



ドジョウ



ニホンウナギ



ミナミテナガエビ



トゲナシヌマエビ



モクズガニ



サカマキガイ



フネアマガイ



コガタノゲンゴロウ



コオニヤンマ



モンキマメゲンゴロウ



キュウシュウカラヒメドロムシ

図 3・1. 三重田低地の確認種



コフキヒメイトトンボ



モノサシトンボ



カスミサンショウウオ



オオキンカメムシ



ハスジオオキノコ



フタモンクビナガゴミムシ



シリアカハネナガウンカ



ミツノエンマコガネ



サツマヒメカマキリ



ツマグロスケバ



タケトゲハムシ



ツマキチョウ



ホソキカワムシ



ヒゲトグンバイ



ヤエヤマニセツツマグソコガネ

図 3・2. 三重田低地の確認種

⑥長崎市永田町（黒崎永田湿地自然公園）

この公園は、前述の三重田町の北側に位置し、放棄水田だったところをH14 年度に湿地公園へと整備した場所です。湿地公園には永田川が流下しており、これに付随し、整備された野鳥観察池や湿地が存在しています。また、新たに蓮等の池の整備が進んでいる段階です。永田川の川幅は 2m 程と小規模で、水深も 30 cm に満たない場所がほとんどですが、湿地内の土壌が水分を含んだ泥であるため、場所によっては深く足元が沈み込みます。湿地公園内は、ヨシ、ガマ類を中心とした湿生植物が主に生育していますが、年々遷移により乾燥、陸地化が進んでいる状況で、セイタカアワダチソウなども各所に見られるようになっていきます(図 4)。



公園内歩道



永田川 公園内上流部



永田川河口



公園内 駐車場



公園内 野鳥観察小屋



公園内 野鳥観察小屋(台風後崩壊)

図 4. 調査地点の状況

調査は、表 2 の月日に、前述の三重田低地と概ね同様に行っていますが、通称「ふんどし流し」については行っていません。陸上においても同様に、昆虫網やたたき網を用いた調査及び夜間行う灯火採集なども合わせて行っています。また、一部で F I T (フライトインターセプトトラップ) や P T (ピットホールトラップ) を用いた調査を行っています(図 5)。



都市公園内行為許可証の掲示



捕獲したアメリカザリガニ



F I T

図 5. 調査状況

表 2. 調査月日と採集方法

No.	調査年月日	調査者	陸上昆虫類						共用 灯火採集	水生動物	
			陸上 ルッキング	たたき網	昆虫網	PT	FIT	バキューム		水辺 ルッキング	水辺 けん網
1	2020.1.13	TK,FG	○							○	○
2	2020.2.8	FG	○	○	○					○	○
3	2020.2.23	FG	○							○	
4	2020.3.8	FG	○	○	○					○	○
5	2020.3.21	TK,FG	○	○	○	○	○			○	○
6	2020.4.5	FG	○	○						○	○
7	2020.4.29	FG	○	○	○					○	
8	2020.5.6	FG	○							○	○
9	2020.6.7	FG	○	○	○					○	○
10	2020.6.6,20	TK,FG	○							○	○
11	2020.7.2	FG	○						○		
12	2020.7.18	TK,FG	○	○	○				○		
13	2020.8.3	FG	○							○	○
14	2020.8.15	FG	○	○	○					○	○
15	2020.9.13	FG	○	○	○					○	○
16	2020.10.3	FG	○	○	○					○	○
17	2020.11.8	FG	○	○	○					○	○
18	2020.12.6	FG	○	○						○	○

<調査者略記> TK: 田中 清、FG: 深川元太郎

確認種は、三重田低地同様に一部種査定が途中のものがありますが、今年で 643 種、未発表資料や既往知見も加えると 844 種となっています。主な確認種をあげてみると、魚類では、二ホンウナギ、カワムツ、ミナミメダカ、エビ・カニ類では、カワリヌマエビ属、トゲナシヌマエビ、モクズガニ、貝類では、カワニナ、サカマキガイ、水生昆虫類では、ミズカマキリ、アメンボ、ギンヤンマ、コシアキトンボ、オオシオカラトンボ、ベニトンボなどです。一方、過去の調査で確認できていた種の中で、今年確認できなかった種や確認できたけれど非常に少ないと思われた種は、マルタニシ、モノアラガイ、ヒラマキガイモドキ、クルマヒラマキガイ、チスイビル、キイトンボ、ネアカヨシヤンマ、ヘイケボタル、ヌマガエルなどです。その要因として、アメリカザリガニやウシガエルによる影響が懸念されます。以下(図 6)に確認した種の画像をあげておきます。



コイ



カワムツ



ドジョウ

図 6-1. 黒崎永田湿地公園の確認種



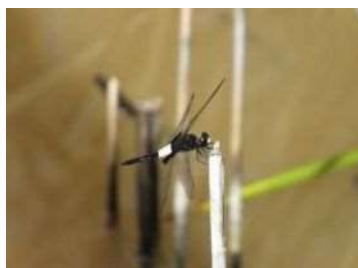
ミミズハゼ



アメリカザリガニ



サカマキガイ



コシアキトンボ



モノサシトンボ



ミズカマキリ



コオニヤンマ (幼虫)



エサキアメンボ



アサヒナカワトンボ (幼虫)



コオイムシ



ニホンアカガエル(卵塊)



アカハライモリ



ベニトンボ



コガタノゲンゴロウ



キスジミゾドロムシ

図 6・2. 黒崎永田湿地公園の確認種